



千葉労働局発表
平成26年11月28日

【照会先】

千葉労働局労働基準部健康安全課
課長 但馬 明雄
課長補佐 菅原 勇次
安全専門官 八木 直樹
電話 043-221-4312



報道関係者各位

(平成26年度年末年始無災害運動標語)

「安全の足並み揃えて 手を抜かず 年末年始もゼロ災害」

～年末年始無災害運動・安全パトロールを実施します！～

千葉県産業安全衛生会議（議長：小澤真一千葉労働局長）は、平成26年12月15日から平成27年1月15日まで、「平成26年度年末年始無災害運動」を展開することとしています。（実施要領は別添チラシをご参照ください。）

この運動の一環として、局長を先頭に建設工事現場*を対象とした千葉県産業安全衛生会議構成機関による安全パトロールを実施しますので、その概要をお知らせいたします。

*今年度は、**建設業での死亡災害が急増**（別添資料参照）していることから、建設工事現場をパトロールすることとしました。

1 実施年月日及び時間

平成26年12月8日（月）13：15～15：15（雨天決行・荒天中止）

2 パトロール現場

東京外かく環状道路（外環道）工事現場

- ①清水・銭高 J.V 田尻地区函渠その6工事（市川市田尻 5-3-3）
- ②大成・京成 J.V 田尻地区函渠その4工事（市川市田尻 5-23-24）

*①②の順番で隣接している2つの現場をパトロールします。

3 パトロール隊の編成

千葉労働局（小澤真一局長）ほか千葉県産業安全衛生会議構成機関（チラシ裏面参照）

*工事の発注者である国土交通省首都国道事務所と合同で実施します。

（取材に当たってのお願い）

工事現場への入場には事前登録が必要となりますので、お手数ですが、12月4日（木）午後3時まで、①報道機関名②来場者数③来場方法（車の場合にはあわせて登録番号等）を上記照会先までご連絡ください。（現場までの地図をお渡しします。）

平成26年度 年末年始無災害運動実施要領

安全の足並み揃えて 手を抜かず 年末年始もゼロ災害

千葉県産業安全衛生会議

実施期間

平成26年12月15日～平成27年1月15日

準備期間

平成26年12月1日～平成26年12月14日

1 趣 旨

年末年始無災害運動は、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるようにという趣旨で、厚生労働省の後援のもと中央労働災害防止協会が主唱する全国的な運動で、千葉県内では、千葉労働局及び各労働基準監督署並びに千葉県産業安全衛生会議（下記構成機関）が主催する運動です。

千葉県内における労働災害による死傷者数が、去年は、対前年比3%の減少を見たものの、死亡者数は前年より大幅に増加しました。更に、本年は、9月末の状況で、死亡者数、死傷者数ともに、前年と比較して増加しており、特に、死亡災害が3年連続増加するおそれのあることから、10月には千葉労働局長及び千葉県産業安全衛生会議がそれぞれ「STOP労働災害-労働災害のない職場づくりに向けた緊急要請-」を行うなど、引き続き予断を許さない状況にあります。

一方、健康面では、依然として労働者のメンタルヘルス不調や過重労働による健康障害が深刻な状況であるとともに、腰痛、化学物質等による健康被害等も看過できないところであります。

昨年度から千葉労働局は、中期的な安全衛生施策の方向性を示す「第12次労働災害防止計画」（平成25年度～平成29年度）を策定し、特に対策の重点化を図るものとして、第三次産業における安全衛生管理の強化、製造業・建設業対策、メンタルヘルス・過重労働対策の充実、化学物質による健康障害防止対策などを掲げ、『Safe Work CHIBA』をキャッチフレーズに推進しています。

このような状況の中、職場の安全や労働者の健康を確保していくためには、企業、労働者双方の意識改革を進めることが必要であり、特に経営トップの強い意識が重要です。経営トップは、自らが先頭に立ち、安全衛生管理体制や安全衛生活動について改めて総点検を行い、リスクアセスメントや安全衛生教育、危険予知活動などの日常的な安全衛生活動を強化し、労働環境水準の向上を図ることが求められています。

とりわけ年末年始は、あわただしく、生活のリズムも変わりやすく、特に、大掃除や機械設備の保守点検・始動等、非定常作業が多くなることから、各事業場、職場では災害防止のために特別の配慮が必要となります。

このような趣旨を踏まえ、本年度の年末年始無災害運動は、

「安全の足並み揃えて 手を抜かず 年末年始もゼロ災害」

を標語として展開することとします。

2 実施事項

(1) 主催者

- ① 各種会合等の機会を利用して趣旨の徹底を図る
- ② 各機関の機関紙、インターネット、報道機関等により広報するとともに、年末年始無災害運動の立看板、ポスター等を掲示し、趣旨の徹底を図る
- ③ 実施要領を実施者に配布し、実効ある運動を展開する
- ④ 安全パトロールを実施する

(2) 各事業場

- ① 経営トップによる安全衛生方針の決意表明
- ② リスクアセスメント及び労働安全衛生マネジメントシステムの積極的な導入・定着
- ③ メンタルヘルス対策、過重労働対策の推進
- ④ KY(危険予知)活動を活用した「現場力」の強化と5Sの徹底
- ⑤ 非常作業における労働災害防止対策の徹底
- ⑥ 機械設備に係る定期自主検査及び作業前点検の実施
- ⑦ 安全衛生パトロールの実施
- ⑧ 火気の点検、確認等火気管理の徹底
- ⑨ はさまれ・巻き込まれ災害の防止対策の徹底
- ⑩ 交通労働災害防止対策の推進
- ⑪ 東日本大震災に伴う復旧・復興工事における労働災害防止対策
- ⑫ 化学物質管理の徹底
- ⑬ 腰痛、転倒防止、受動喫煙防止対策の推進
- ⑭ 健康的な生活習慣（睡眠、飲酒）に関する健康指導の実施
- ⑮ インフルエンザ等感染症対策の徹底
- ⑯ 安全衛生旗の掲揚及び年末年始無災害運動ポスター、のぼり等の掲示
- ⑰ その他安全衛生意識高揚のための活動の実施



「Safe Work CHIBA」をキャッチフレーズに
労働災害防止に取り組みましょう！

構成機関

千葉労働局
千葉県
(公社)千葉県労働基準協会連合会
建設業労働災害防止協会千葉県支部
陸上貨物運送事業労働災害防止協会千葉県支部
港湾貨物運送事業労働災害防止協会千葉総支部
林業・木材製造業労働災害防止協会千葉県支部
(一社)千葉県経営者協会
千葉県中小企業団体中央会

(一社)日本クレーン協会千葉支部
(一社)日本ボイラ協会千葉支部
(公社)ボイラ・クレーン安全協会千葉事務所
(公社)建設荷役車両安全技術協会千葉県支部
(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会千葉支部
千葉産業保健総合支援センター
日本労働組合総連合会千葉県連合会
東日本旅客鉄道(株)千葉支社

建設業の死亡災害が急増！

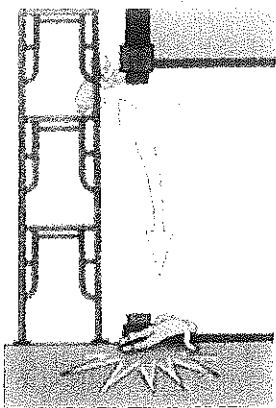
平成 26 年における建設業の労働災害による死亡者数は、10 月末現在で 22 人、既に平成 25 年 (17 人) を上回り、平成 18 年 (27 人) 以来の 20 人超えです。

STOP 労働災害

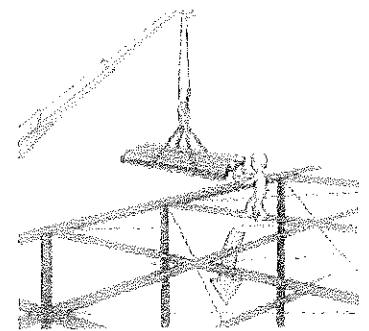
年末年始無災害運動の積極的展開で増加に歯止めを

安全の足並み揃えて 手を抜かず

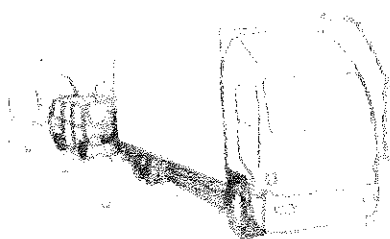
年末年始もゼロ災害



足場からの墜落災害



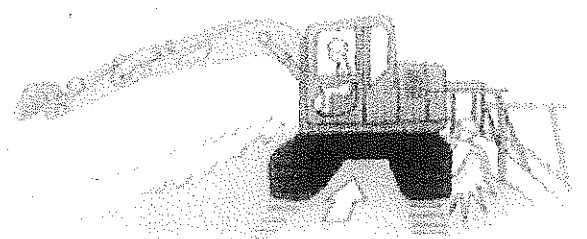
クレーン作業中の墜落災害



帰社途中の交通事故



掘削作業中の挟まれ災害



重機走行中の接触災害

「たまたま 運が悪かった！」で済ませていませんか？

『安全管理の A (当たり前のこと) B (ばかにしないで) C (ちゃんとやる)』

の基本に戻り、「手を抜かず、手順の確認・点検」を確実に！



千葉労働局・労働基準監督署



平成26年死亡災害発生状況

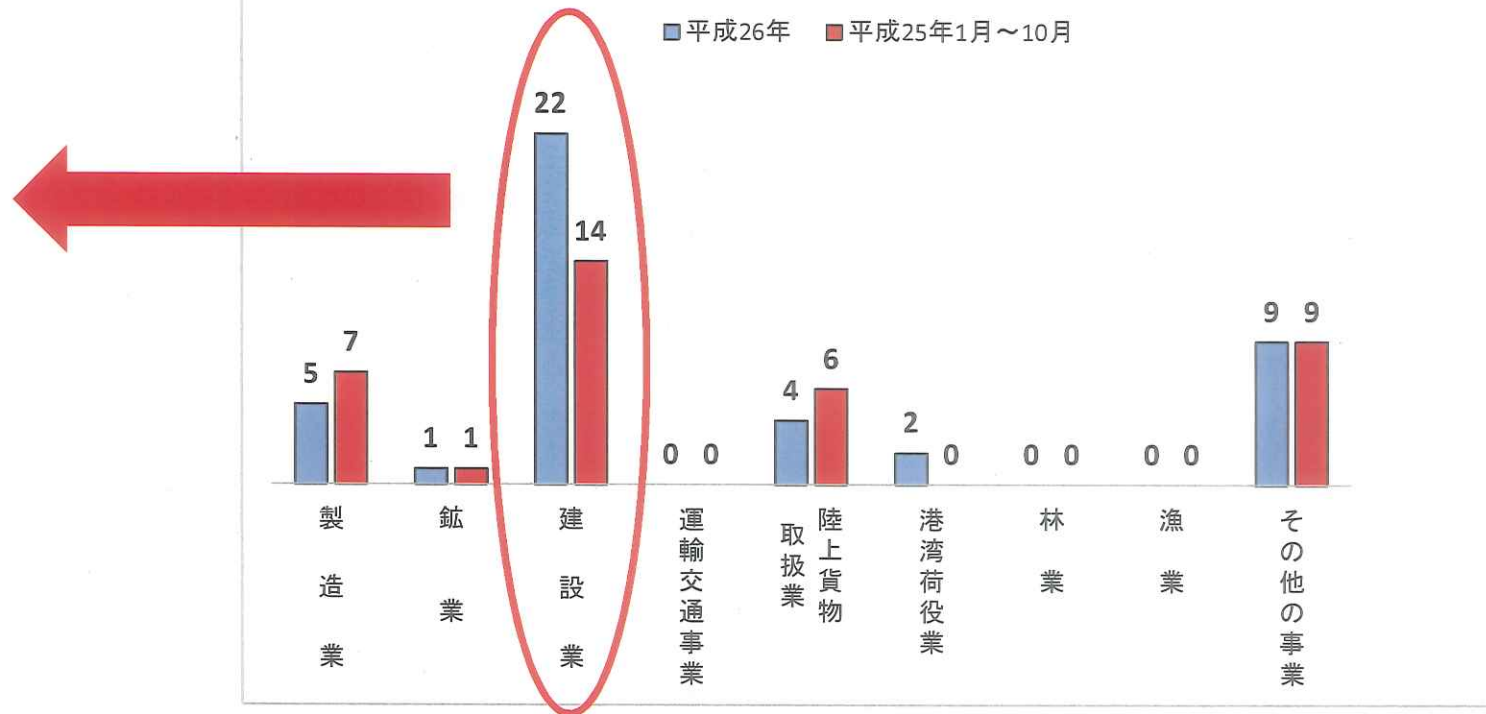
平成26年10月31日 現在

千葉労働局

建設業死亡災害発生状況
(事故の型別)

墜落・転落	8
交通事故	5
飛来・落下	3
はさまれ・巻き込まれ	2
その他	4
合計	22

平成26年業種別死亡災害発生状況



平成26年 業種別 死亡災害発生状況

	製造業	鉱業	建設業	運輸交通	陸上貨物	港湾荷役	林業	漁業	その他の	合計	平成25年 1月～10月	平成25年 全数	交通事故内数	
				事業	取扱業	業							平成26年	平成25年
平成26年	5	1	22	0	4	2	0	0	9	43			13	
平成25年1月～10月	7	1	14	0	6	0	0	0	9		37			5
平成25年全数	9	1	17	0	9	0	0	0	12			48		14

* 陸上貨物運送業には道路貨物運送業および陸上貨物取扱業を含む。

平成26年 月別 死亡災害発生状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平成25年 全数
平成26年	4	1	5	5	2	4	6	5	7	4	0	0	43	
平成25年全数	3	11	3	2	5	3	2	3	2	3	8	3		48